

2011年度（平成23年度）苫小牧市温室効果ガス排出量

平成26年12月
苫小牧市環境衛生部環境保全課

1 温室効果ガス排出量について

市内温室効果ガス排出量（CO₂換算）は2,589千トンとなり、基準年比4.2%の増加となりました。

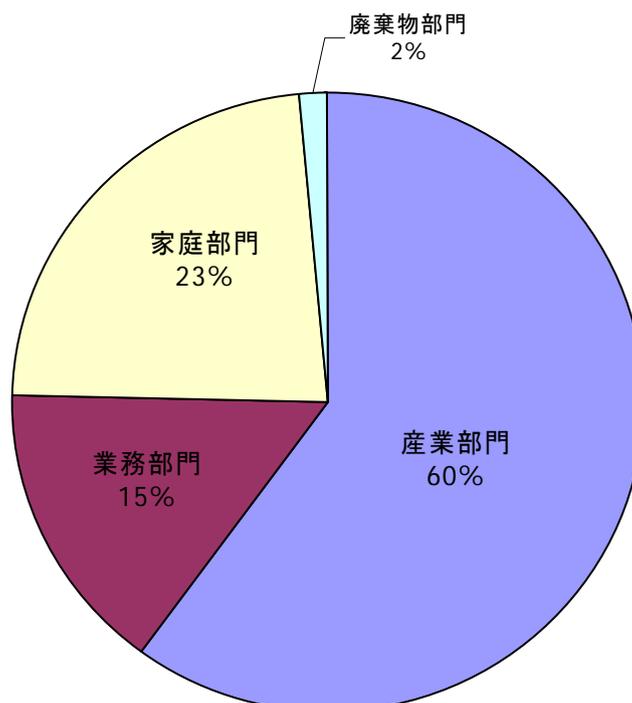
部門別では、産業部門で基準年比12.3%の減少、業務部門で43.0%の増加、家庭部門で46.8%の増加、廃棄物部門で34.5%の増となりました。

増加の要因は、産業活動の活発化、業務系建物床面積の増加、核家族化による世帯数の増加、自動車保有台数の増加、プラスチック類の焼却量の増加などが考えられます。

(単位：千t - CO₂)

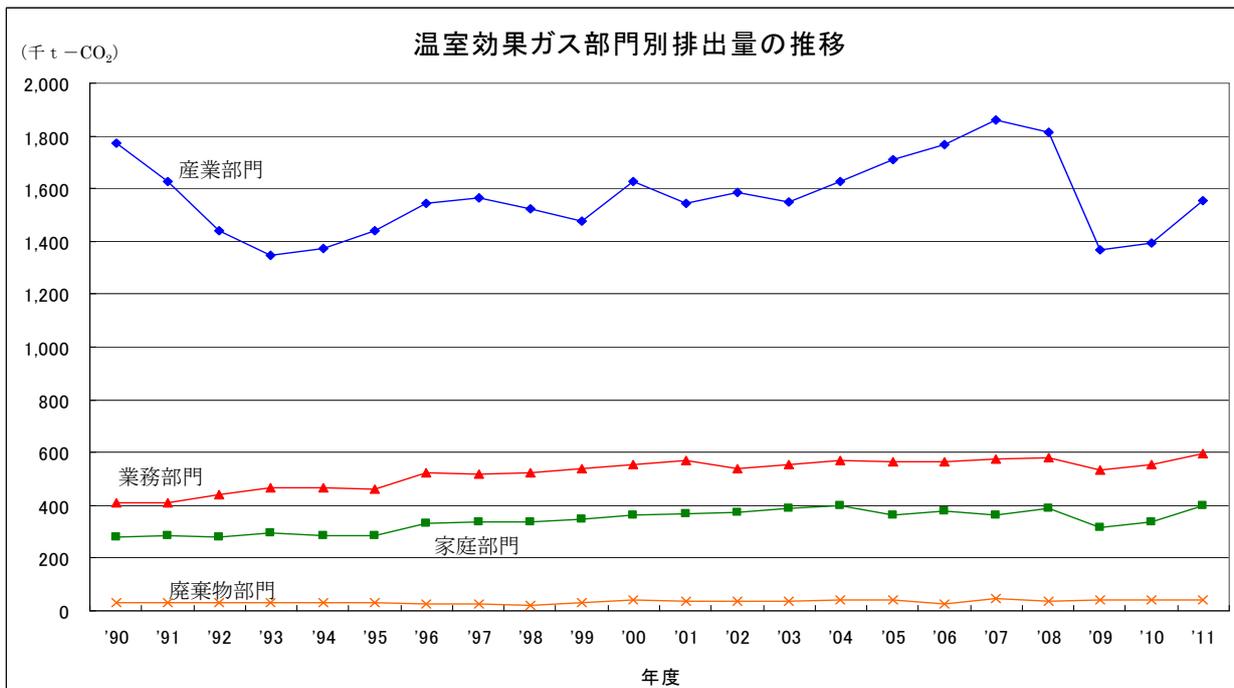
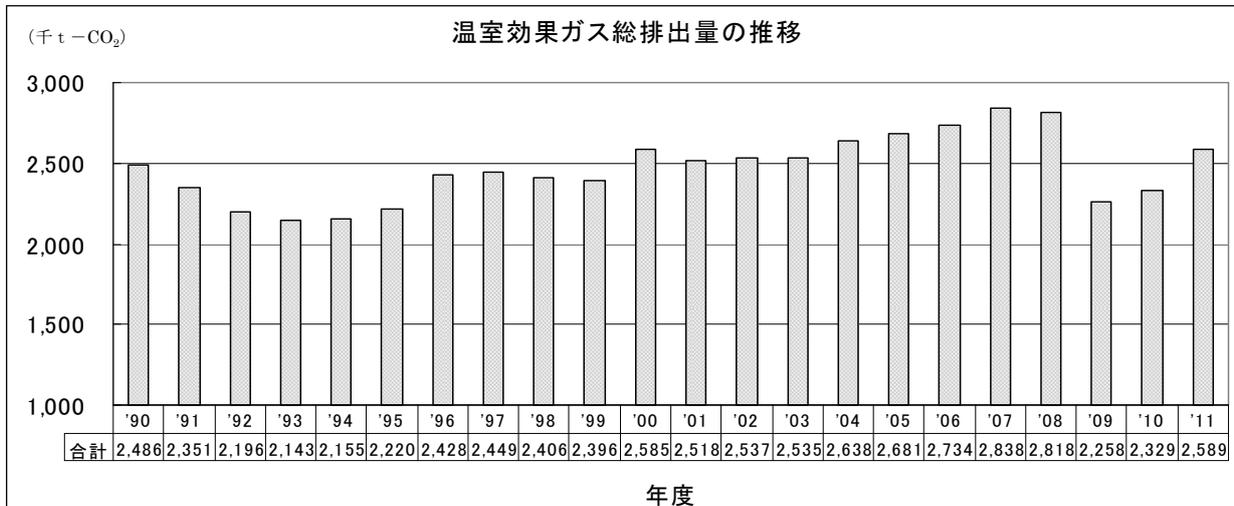
	1990年度 (基準値)	2009年度	2010年度	2011年度	2011年度	
					基準年比	前年比
合計	2,486	2,258	2,329	2,589	4.2%	11.2%
産業部門	1,770	1,366	1,395	1,552	-12.3%	11.3%
業務部門	280	318	337	400	43.0%	18.6%
家庭部門	407	533	554	598	46.8%	7.9%
廃棄物部門	29	41	43	39	34.5%	-9.1%

部門別の割合（2011年度）



2 経年変化について

1990年度から2011年度までの経年変化は次のグラフのとおりです。



3 部門別目標の進捗状況

	目標(2017年度)	2011年度
産業部門	総排出量 -15.0%	-12.3%
業務部門	床面積1㎡当たり排出量 -12.0%	-10.6%
家庭部門	1世帯当たり排出量 -7.0%	6.5%
廃棄物部門	1世帯当たり排出量 -15.0%	-2.4%